



◎學術談話會規程

(明治三十八年十月二十日
女子高等師範學校制定)

- 第一條 本會ハ本校生徒ガ平素學習スル事項ヲ互ニ談話シ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ヲ文學部理學部技藝部ノ三部ニ分ツ
- 第三條 文學部ハ文科生徒理學部ハ理科生徒技藝部ハ技藝科生徒ヲ以テ組織ス
- 第四條 研究科選科專修科生徒ハ各自修ムル所ノ學科目ノ區別ニ從ヒテ第二條ノ各部ニ入ルモノトス
- 第五條 學校長ハ教官中ニ就キテ各部ニ部長ヲ囑託ス
- 第六條 各部ニ於テハ生徒中ヨリ各科二名ツ、幹事ヲ互選スベシ
- 第七條 部長及幹事ノ任期ハ一學年間トス
- 第八條 部長ハ談話ノ事項順序方法ヲ指導スルモノトス
- 第九條 幹事ハ部長ノ指揮ヲウケテ各部ノ事務ヲ取扱フモノトス
- 第十條 生徒ハ各自所屬外ノ部ニ出席セント欲スルトキハ部長ノ承諾ヲ經ルヲ要ス
- 第十一條 本校卒業生ニシテ各部ノ會合ニ出席セント欲スルモノハ部長ノ承諾ヲ經ルヲ要ス

◎理科學術談話會內規

- 一、本會ハ當分ノ中毎三ヶ月一回ヅ、ニシテ其月ノ第二土曜日ニコレヲ開クモノトス
- 二、毎會演說者ハ教官中ヨリ二名以上生徒中ヨリ理科四年生ヨリ四五名ツ、豫メコレヲ選定シ其外臨時ニ演說セントスルハ隨意タリトイヘトモ其都度部長ノ承認ヲ經ルモノトス
- 三、幹事ノ中理科四年生ヨリ選定セラレタルモノハ專任幹事トナリ部長ノ指圖ヲウケテ專會務ニ従事スルモノトス
- 四、專任幹事ハ本會々員ノ名簿ヲ調製シ演說ノ要領等ヲ筆記シテ本會ノ記錄ヲ作ルモノトス
- 五、會員ハ會費トシテ一學年ニ金五錢宛出金スルモノトス

◎初回以來第八回マデノ開會記事大要

本會創立ノ由來

從來本校ニ於ケル生徒ノ會合ニハ如蘭會アリ土曜會アリト雖モ何レモ特殊ノ目的ノモトニ組織セ

ラレタルモノナレバ同シク學術界ニ向上發展センコトヲ企圖シツ、アルモノガ或ハ己ノ研究ヲ發表シテ以テ輿論ニ問ヒ或ハ他ノ發見ヲ聞テ以テ學識ヲ廣メ殊ニ先進ノ講話ヲ請フテ新説ヲ領得スルガ如キ有益ナル會集ハ未ダ設置ノ運ニ至ラサリシハ常ニ恨事トセル處ナリシガ端ナクモ三十八年度ノ第一學期ニ於テ吾々ノ宿望ハ満足ノ域ニ達セントスルノ機會ニ遭遇シヌ即上級ノ黒田ちか子原ゆく子ノ兩嬢ヲ委員トシテ事ノ一什ヲ具シ岩川教授ヲ煩ハセシニ同教授ニハ大々の同情ヲ以テ此舉ヲ賛セラレタルノミナラズ多大ノ便宜ヲ與ヘラレタル結果トシテ會ハイヨイヨイ成立セリ吾々ノ希望ハ滿タサレタリ依テ規約ヲ定メ其年十月十四日ト云フ吉日ニ會ハ呱呱ノ聲ヲアゲヌコレ本會創立ノ由來ナリ爾來健全ニ成長シ今年ヲ重ヌルコト三而シテ客員ノ指導ト會員ノ協力トニ依リテ即會報トナリテ見參スルノ榮譽ヲ負フニ至レリ茲ニ謹デ岩川教授及客員諸賢ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シ併セテ黒田原兩嬢ノ勞ヲ多謝ス

開會記事

第一回 明治三十八年十月十四日ハ即本會ノ紀元ナリ午後一時ヲ以テ本校第二講堂ニ開會ス岩川教授ヨリ會ノ成立及趣旨ト將來ニ對スル希望ヲ懇話セラレタリ發會ノ事故別ニ講話モナク取立テ、記スベキコトナカリシ

第二回 明治三十九年一月十三日午後一時開會講演左ノ如シ

- 一、ラヂウムニ就キテ 四年 岩田安代
 - 二、生物ト無生物トノ區別 二年 野上みね
 - 三、結核菌ニツキテ 客員 石原講師
 - 四、焰 四年 鈴木ざん
 - 五、太陽ノ黒點ニ就キテ 全 牧あさを
 - 六、海中火山 全 江澤駒路
- 第三回 明治三十八年四月十四日午後一時開會本日新ニ入會セシモノ二十六名アリタルヲ以テ岩川部長ヨリ本會ノ趣旨ヲ懇話セラル本日ノ出席者ハ客員及會員ヲ通シテ百三十余名外ニ文科技藝科ヨリ凡ソ三十名ノ傍聽アリテ非常ノ盛會ナリキ而シテ出演者左ノ如シ
- 一、電氣分解 三年 中田ミキ
 - 二、水酸化カリ 數學物理化學專修科 玉置ます
 - 三、蟻ノ生命ニツキテ 四年 宇田くに
 - 四、冬寒ケレバ豊年ナリトイフ諺ニツキテ 四年 永岡よし
 - 五、島ニツキテノ視察談 客員 佐藤教授
 - 六、金屬カルシウムニツキテ 全 平田教授

第四回 明治三十九年七月五日午後一時開會

一、三崎旅行談

二、菊ノ培養法ニツキテ

三、まゝこ算ニツキテ

四、植物ノ受精作用ニツキテ

第五回 明治三十九年十月十一日午後一時開會

一、花毛氈ニツキテ

二、免疫血清ニツキテ

三、象ノ話

四、電話交換機ニツキテ

第六回 明治四十年二月九日例刻開會

一、珈琲ニツキテ

二、製鐵所素見談

三、ノアノ大洪水ニツキテ

四、接觸作用ニツキテ

五、物理化學ノ意義

六、「しろいたち」北海道ノ動物分布ニツキテ

第七回 明治四十年五月十一日例刻 會此日新舊部長更送ニ付ノ披露及挨拶アリ新入會者二十五

名本日ノ講話左ノ如シ

一、石炭ニツキテ

二、藍ノ話

三、すみれノ話

四、無線電信

五、自然ニ於ケル塵埃

六、實驗ニツキテ

七、科學上ノ談話ニ關スル注意

第八回 明治四十年十月十二日例刻開會飯盛部長ヨリ會報發行ニ關スル報告アリ續テ左ノ談話アリ

リタリ

一、紅葉ノ話

二、蠶蛆ニツキテ

四年 馬場 さん

三年 中野 英

客員 森 教 授

研究科 保井 ことの

四年 三井ヒサエ

三年 福西ならむめ

二年 永井 やゑ

客員 近藤 教諭

二年 小高 くわ

四年 伊牟田 ちか

三年 鹽津 テイ

客員 平田 教授

客員 岩川 教授

四年 萩本 もり

二年 芝田 ふさ

三年 太田 よね

四年 南 ひで

同 池田 とよ

客員 平田 教授

客員 岩川 教授

三年 佐藤 てる

一年 清水 りき

- 三、石油ニツキテ 四年 小島 由ノ
- 四、牛乳ノ試験 三年 加藤 サダ尾
- 五、發光生物 四年 多田 セツ
- 六、計算ニツキテ 客員 森 教 授
- 七、イヒチオール 同 平島 助 教 授
- 八、戰捷草ニツキテ 同 同 人

○本會部長及幹事ノ更迭

明治三十八年十月十四日學術談話會規程第五條ニ基キ學校長ハ岩川教授ニ本會部長ヲ囑託セラ
 ル一年ノ任期ハ翌三十九年十月ヲ以テ滿チタレドモ都合ニ依リ其年度内重任セララル明治四十年
 度ニ至リ飯盛教授代テ部長ヲ囑託セララル
 幹事ハ規程第六條ニヨリ各科ヨリ二名ヅ、ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

明治三十八年度

- 四年 益田 一枝 遠藤 きみ
- 三年 内田 時得 常石 かつ
- 二年 三島 きち 池田 とよ

明治三十九年度

- 一年 江本 よし 佐藤 とさ
- 二年 伊藤 たい 曾我 よふ

明治四十年度

- 四年 藤谷 いわ 小林 ひさ
- 三年 長戸 ふさ 清野 きよのぶ
- 二年 本間 セン 柄澤 のぶ
- 一年 星 きい 尾村 千代
- 四年 天沼 柳 中野 英
- 三年 徳永 なし 大槻 駒
- 二年 鳥取 ちかよ 由雄 なを
- 一年 倉田 しま 横田 たげ